

好きです！



南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力

考える力

やり抜く力

後期前半スタート！

～2026年令和8年の始まりです～

1月8日（木）、後期後半始めの会を迎えました。さて、今年は「午（うま）年」です。始めの会では午年にちなんで話をしました。

古くから人と寄り添って生きてきた馬は、力強く前へと進み、どこまでも走り続ける「前に進むこと」「頑張ること」のシンボルです。まさに、三小っ子が大切にしている「一步前進！」という言葉にぴったりの一年です。馬のしなやかな強さになぞらえて、南関三小で育てたい三つの力を磨いていこうと次のように話しをしました。



「協力する力」：馬は仲間といっしょに走るのがとても上手です。みなさんも、友達と声をかけ合ったり、助け合ったりしながら、いろいろなことにチャレンジしていきましょう。たとえば、友達と助け合ったり、グループで話し合って考えをまとめたりすることも、協力する力を育てる大切な時間です。

「考える力」：澄んだ瞳でまわりをじっと見つめて、馬はかしこく動きます。授業で「どうしてだろう？」「もっとよくするには？」と考えることはすごく大切です。たくさん

のお勉強や、国語などでの話し合い活動など、自分の考えをもち発表したり、友達の考えをよく聴いたりして、考える力を育てることができます。

「やり抜く力」：長い道のりもあきらめずに進む馬のように、持久走大会や日々の学びに、最後まであきらめずに取り組んでいきましょう。「むずかしいな」と思っても、あきらめずにがんばることで、自分の力が伸びていきます。

また、2月13日（金）に予定している「学習発表会」は、子供たちの学びを発表する大切な場です。地域の方々と一緒に育てた収穫したことや、自分たちで一生懸命に考え抜いた学びの成果を、堂々と発表する姿を参観していただきたいと思います。

この後期後半は、学年のまとめであると同時に、新しい学年へと羽ばたくための準備をする大切な期間です。子供たち一人一人が、広い野原を駆ける馬のように颯爽と、自分らしく輝けるよう職員も一緒に走りたいと思います。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

くつがそろうと心もそろう

南関三小では、「くつがそろえば心もそろう」ということを大切にしています。一つ一つのくつが丁寧に並んでいる様子は、子供たちの心が落ち着き、穏やかな気持ちで一日をスタートさせることにつながっています。このようにして気持ちのよい日々の習慣を大切にできることが、一人一人の豊かな心を育てています。

学校ホームページご覧ください

南関第三小学校の様子を。カードのQRコードから、ホームページをご覧ください。



<https://eshigo.ed.jp/nankan3e/>



CHECK !